

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チームでつくる介護計画とモニタリングというところで、コロナ渦でご家族の面会ができず、ご家族の意向がうまく反映されていなかったり、職員同士やその他専門職(歯科衛生士や管理栄養士など)との意見交換をする機会が少なく統一したケア、本人主体のケアができていないところがあった。	計画作成者主体で介護計画、モニタリングを行うのではなく、チームで行い、本人がグループホームでよりよく暮らしていけるよう支援していく。また、その計画をもとに統一したケアを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の面会ができないときは、電話やオンライン面会時に詳細な意向の把握に努める。 ・職員同士の定期的なカンファレンスを実施し意見交換や統一したケアの実施を行う。 ・その他専門職とは書面などを通して意見を聞き介護計画に反映させる。 ・本人の変化や気づきなどは個別記録に記入し、情報共有する。 	12ヶ月
2	48	役割、楽しみごとの支援というところで、コロナ渦で外出の機会が減っている中で、ホーム内のできる楽しみごと、気分転換の支援が足りていなかった。	コロナ渦で外出の機会は減っているが、その代替えとなる楽しみごと、気分転換を支援し、生き生きとした生活を送っていただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内のデイサービスの活動を参考にし、楽しみごとを取り入れる。 ・職員の得意分野を生かしたアクティビティの実施 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。